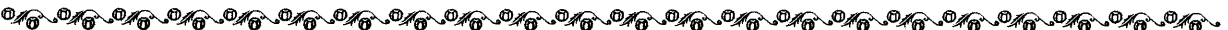


2008.7.5



# 大作曲家の隠れた名曲・佳曲を集めて **第2回**



## ★ ★ フログラム ★ ★

今日は、大作曲家の隠れた名曲、佳曲を集めてお聴きいただくシリーズの第2回目です。他のハ短調作品と共通する厳しい中にも優しさが随所で顔を出すベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ第7番、フォーレの美の世界が堪能できる名曲「ペレアスとメリザンド」、ロマンティックな味わいと華麗なピアノに引き込まれるサン＝サーンスのピアノ協奏曲第4番、伸びやかなうたと瑞々しい情感に溢れたブラームスの弦楽六重奏曲第1番、ヴァイオリンの調べに乗って歌われる「あすの朝」はR・シュトラウスの歌曲の中でも特に美しい名曲。メンデルスゾーンの「宗教改革」は事実上2番目の交響曲ですが、力強い旋律と、祝典的高揚感が魅力の佳曲です。各ジャンルからこれは、といった曲を集めてみました。

\*\*\*\*\*

### ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827) : ヴァイオリン・ソナタ第7番ハ短調 op.30-2~

第1楽章、第2楽章~第4楽章抜粋

ピнкаス・ズーカーマン (ヴァイオリン) / マイク・ナイクルーグ (ピアノ)  
(1993.12.14 浜離宮朝日ホールLive)

### ガブリエル・フォーレ (1845~1924) : 組曲“ペレアスとメリザンド” op.80~

第1曲 前奏曲 / 第3曲 シシリエンヌ / 第4曲 メリザンドの死

ジャン・フルネ指揮日本フィルハーモニー交響楽団  
(1997.5.11 東京芸術劇場Live)

### カミーユ・サン＝サーンス (1835~1921) :

#### ピアノ協奏曲第4番ハ短調 op.44 ~ 第1楽章~第2楽章抜粋

ジャン・フィリップ・コラル (ピアノ)  
アンドレ・プレヴィン指揮ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団 (1986年録音 EMI盤)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

### ヨハネス・ブラームス (1833~1897) :

#### 弦楽六重奏曲第1番変ロ長調 op.18 ~ 第1楽章から第4楽章抜粋

アイザック・スターン (ヴァイオリン) / チョーリヤン・リン (ヴァイオリン) / 堤 剛 (チェロ)  
ジェイミー・ラレード (ヴィオラ) / マーク・ペスカノフ (ヴィオラ) / ヨーヨー・マ (チェロ)  
(1986.11.23 サントリーホールLive)

### リヒャルト・シュトラウス (1864~1949) :

#### 歌曲“あすの朝”(4つの歌 op.27の4)

アンナ・ネトレプコ (ソプラノ) / ジョシュア・ベル (ヴァイオリン)  
イルジー・ピエロフラーヴェク指揮BBC交響楽団  
(2007.9.8 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールLive)

### フェリックス・メンデルスゾーン (1809~1847) :

#### 交響曲第5番ニ短調 op.107 “宗教改革” ~ 第1楽章~第4楽章抜粋

ジェームズ・レヴァイン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団  
(1996.6.7 ベルリン・フィルハーモニーホールLive)